

モ

極めろ

パ

ジーン



ノートPCで

イ

どこでもオフィスを

ル

実現する

道

第

5

回

テーマ

便利グッズで いつでもどこでも 電源と回線を確保する

ホテルだろうが車の中だろうが、コンピュータとインターネットの利用ができなくてはモバイルではない。その際に必要なのが通信回線と電源の確保だ。今回は外出先でこれらを確保できるためのグッズを紹介しよう。

Illust : Karasawa Nawoki

【携帯電話とPHSだけでは通信できないこともある】

本誌読者のノートPCユーザーなら、社内や自宅でインターネットしているのは当たり前。携帯電話やPHSと通信カードを使ってモバイルコンピューティングを実践している方も多いだろう。しかし、携帯電話もエリア外への出張ではその威力は発揮できない。ホテルではアナログモデムのお世話になるかもしれない。またPHSではファミリーレストランに入っただけで電波が届かなくなってしまう。車で移動する時間が長い営業職や地方出張などでは、ノートPCのバッテリーの持ちも気になる。

いくら立派なノートPCを持っていても、電源と通信回線がなければ宝の持ち腐れだ。そこで今回は、モバイル道の実践として、電源と通信回線を確保するために役立つグッズを紹介する。

PHSの場合、携帯電話よりも地下鉄構内などには強いのだが、店舗や建物の

内部には極端に弱くなる。それを補うのがNTTパーソナルのホームアンテナとアステルのパワーアンテナだ。これらは本来自宅やオフィスの電波が届いている窓際に設置して、通常は電波が届かないその内部までPHSの電波を中継するものだ。ところが、これらは電池で14時間～24時間も待ち受けができる。その利点を生かして持ち歩き、たとえばファミリーレストランに入る前に車のダッシュボードに置いておく。実際に試したところ、20メートル程度は電波を中継してくれる（状況によるが）ので、レストランの中でもPHSが使えるというわけだ。このほか、出張先のホテルの窓際に置いてメールをチェックしたり、訪問先の会社の窓際に置いてインターネットを使ったデモを行うといった使い方もできる。

宿泊先のホテルがPHSが入らないなら、アナログ回線を使うことになる。携帯電話を使ってもいいが、わざわざ遅くて高い回線を使う必要はない。ホテルのアナログ回線を使うときに注意しなければならぬのが、そのホテルの交換機だ。家庭やオフィスと違って大きな電流が流



ホームアンテナ HA-2S
NTT パーソナル

NTT パーソナルの PHS 用電波中継器。見通しのよいところなら 20 メートル程度は中継してくれる。店頭販売はしておらず、レンタルとなる。
問い合わせ 0120-898956
URL <http://www.nttphs.co.jp/>



パワーアンテナ PX-11
アステル

アステルの PHS 用電波中継装置で、やはり最大 20 メートル程度中継できる。こちらも販売ではなく無料レンタルしてくれる。
問い合わせ 0120-050-017
URL <http://www.astel.co.jp/>

れていて、モデムを壊してしまうことがあるからだ。これをチェックするためには、モデムプロテクターが便利だ。これを使えば過電流が流れていないかなどの危険が一発でわかる。長期の宿泊で、しかも近くにパソコンショップがない場合、初日にモデムが壊れたら、それ以後一切通信ができないということもあり得る。100円ライター程度の大きさで価格も3000円弱なので、転ばぬ先の杖、という感じで持っていきたい。

PCカードTA不要の ISDN公衆電話が 現れた

外出先での大量のデータの送受信では、ISDN公衆電話を使えば速く安くすむ。だが、それには高価なTAのPCカードが必要だ。ところが、TAカードを必要としないISDN公衆電話が現れた。「赤外線通信インターフェース付きISDN公衆電話」、通称「赤目グレ電」がそれだ。

赤目グレ電は赤外線（IrDA）ポートと、それを使ったTAを電話機自体に備えている。そのため、ノートPC側にはTAカードがいらず、

IrDA 1.0規格の赤外線ポートがあればいい。電話機のIrDAポートは正面のテレホンカード挿入口と正面下部の2箇所にあるので、ノートPCの向きも自由がきく。通信速度は従来のISDN公衆電話と同じ64Kbpsで、電話料金ももちろん通常の公衆電話と同じだ。6月下旬には、東京都内に300台程度設置されるということで、まだまだお目にかかる機会は少ないかもしれない。しかし、赤外線ポートを持ったWindows95のノートPCなら、TAカードもケーブルもいらないのだから、ぜひ活用してほしい。なお、実際の使用に際しては、赤外線ポートのドライバーなど、いくつかのファイルと設定が必要だ。必要なファイルと設定方法、通信の仕方などはNTTの公衆電話のホームページに掲載されているので、一度のぞいてみてほしい。必要なファイルもここからダウンロードできる。

シガーライターソケットで 使えるマルチDCアダプター は超便利

前述したような営業職や出張で1日の多くを車で過ごすときには、ノートPCの内蔵バッ

テリーでは心許ない。そんなときに用意したいのが、シガーライターソケットで使えるDCアダプターだ（ちなみに普段使っているACアダプターというのは、本当はAC-DCアダプターで、交流から直流に変換する。この場合は元が直流だからDC-DCアダプター、略してDCアダプターだ）。シガーライターソケットから電源をとって100Vに変換するインバーターもあるが、それらは20000円近くする。たしかに100Vが取り出せれば使い勝手はいいが、携帯できる電子機器のほとんどはACアダプターで動作するのだから、100Vが必要なことはそうはないはずだ。下の写真のマルチDCアダプターは、取り出す電圧電流を1.5V/500mAから12V/1500mAまで1.5V刻みで設定することができる。ノートPCのACアダプターは15Vから16Vで2A（2000mA）から2.5A（2500mA）というものが多いいのだが、バッテリーは9.6Vから12V程度だから、動作に問題はない。もちろんコネクターのプラスとマイナスの極性も反転できるし、機器に接続する側のコネクタも大小10個近くそろっているので、ノートPCだけではなくヘッドホンステレオやゲームボーイに使うこともできる。ただし、ノートPCの場合、純正のACアダプター以外を使って故障した場合には保証の対象外



「赤目グレ電」ならTAカードもケーブルもなしで64Kbps通信ができる。



NTTの公衆電話のページには、赤目グレ電に必要なファイルや設定方法がある。
URL <http://www.payphone.tokyo.ntt.co.jp/>



モデムプロテクター Checky PX-CHK01
プラネックスコミュニケーションズ
実勢価格：2900円

ホテルなどのモジュラージャックに流れる電流量を検知して過電流によるモデムの破損を防ぐ。100円ライターをひとまわり大きくした程度の大きさだ。
URL <http://www.planex.co.jp/>



マルチDCアダプター
タベックス（電気堂）
実勢価格：3000円

車のシガーライターソケットからDC電源を取り出すアダプター。電圧/電流、機器接続側ジャックの大きさと極性を変えられる。電圧やジャックの数などによって他にも種類があるので、適当なものを選ぼう。



携帯電話用電源アダプター
でんちDEフルチャージ+カーアダプター
多摩電子工業
実勢価格：3800円

携帯電話のバッテリー代わりに乾電池（006p）を使うためのアダプターとカー電源を利用するためのアダプターのセット。乾電池アダプター単体でも販売している実勢価格2000円程度。

になることが多いので、それだけは覚悟しておこう。

もう1つ車載ネクタイにしよう。下の携帯電話アダプターがそれだ。これを接続しておけば、電話機のバッテリーを使わなくてすむだけでなく、充電することもできる。また同梱の電池アダプターを使えば、006P-9V電池を電源とすることもできる。思いがけなく携帯電話のバッテリーが切れたときにいいだろう。この乾電池アダプターは単体でも2000円程度で販売している。車載電源と携帯電話アダプター、携帯電話の乾電池アダプターは日常持ち歩くものでもない。だが、車の電圧とシガーライターソケットの形状さえ合えば海外でも使うことができるのがメリットだ。

電源グッズもう1つ。ホテルなどでは電源コンセントが少なかったりデスクから遠かったりする場合が多い。そんなときのために、電源延長タップを持っていくと便利だ。またコンセントに差す突起が本体に付いているACアダプターの場合、ほかのコンセントが邪魔で差さないものがある。こんなときはアタッチメントコードを使いたい。どちらも高いものでは

ないし、それほどかさばらないので、初めて宿泊するところにはぜひ持っていこう。

モジュラー延長コードは オス・メスを選ばないものを

さてホテルについて電源は確保できた。モデムプロテクターで交換機の安全も確認できた。ではモデムをつないで……、というときに壁や電話機のモジュラーコンセントがノートPCのモデムに届かない、では困る。ノートPCを床に置いてでもつながればなんとか電子メールくらいは受信できるかもしれないが、これでは快適にインターネットとはいかない。こんなときにはモジュラー延長ケーブルを使えばいいというのは、本誌読者なら当然わかることだろう。とはいえ、「生」のモジュラーとキャラメルのようなアダプターでは情けない。そこで登場するのが下の写真のような携帯に便利なモジュラー延長ケーブルだ。これらのいいところは携帯しやすい形にあるのはもちろんだ

が、それだけではない。RJ-11コネクターのオスとメスが2個ずつ付いているのだ。そのため、壁のモジュラーコンセントへ直接接続することももちろん、ケーブルが壁に挿え付けの場合でも接続できる。逆にモデムカードのケーブルがオスでもメスでも接続できる。別の変換アダプターなしにこれ1つでどんな状況にも対応できるところがメリットだ。

最後のオマケとして、通信回線と電源に直接関係はないのだが、ケーブルや電源コードをまとめるのに役立つグッズを紹介しよう。下にあるベロクロテープがそれだ。これらは写真のようにACアダプターのコードをまとめるのにとでも重宝する。幅の細いものならヘッドフォンのコードやモジュラーケーブルなどにも使える。写真のものはパソコンショップで購入したものだが、手芸店に行けば1メートル単位でもっと安く手に入れることができるだろう。ノートPCまわりの小物はこれでまとめたらうえてポーチなどに入れれば、日常の持ち運びが楽になるぞ。

ACアダプター用 アタッチメント電源コード

オーディオテクニカ
実勢価格：1000円

「ツメ」が本体に生えているACアダプターはコンセントに差しにくい。そんなときに使う20cmほどの短い延長コード。これがけっこう役に立ってくれるのだ。

問い合わせ 042-739-9161
URL <http://www.audio-technica.co.jp/>



電源タップ

実勢価格：700円～2000円

家庭で使っているのと同じ電源タップだが、モバイル用には1メートルから3メートル程度、2口か3口でいいだろう。価格はコンセントの口数と長さで変わる。

結束バンド・ベロクロテープ

いずれも長さ20cmほどのもので、写真のようにACアダプターと電源コードをまとめることができる。下の2点は5本程度で600円から800円程度。手芸店なら1メートル300円ほどで購入することもできる。



モジュラー延長セット 携帯型テレホンコードTL-W3

実勢価格：2000円
ソニー

携帯に便利なペン型のモジュラー延長コードのセットで、接続先のコネクタがオスでもメスでもOK。最長で80cmまでしか延びないのは、ちょっと短い感じた。問い合わせ 03-5448-3311



モジュラー延長セット 巻取りモジュラーコードHC-T220

実勢価格1500円
日本ビクター

モジュラーのコネクタ部分までケースに収まる名刺入れサイズのモジュラー延長セット。最大2メートルまで延ばせるので、実用的だ。接続するコネクタはオスでもメスでも問題ない。

問い合わせ 03-5684-9311
URL <http://www.victor.co.jp/>



各キャリアの携帯電話に対応！ 電話帳はPCで管理する

5月号のモバイル道のこのコーナーで、NTTドコモが発売している携帯電話のメモリーにある電話帳データをPCに転送して編集できるキットを紹介した。しかしこれは同キャリアのNEC製の携帯電話にしか対応してなかった。便利なソフトなので「他社製の携帯電話や他のキャリアのものにも対応してくれれば」と思っていたら、うまい具合に他社から発売されたので、通常のこのコーナーを拡大して紹介しよう。

この便利はキットは(株)ネオテクノの製品で対応機種(OS)はウィンドウズ95とNTだ。パッケージにはソフトのCD-ROM、携帯電話とPCを接続するケーブル、それにマニュアルが入っている。ケーブルのPCへの接続はRS-232Cポートを使う。携帯電話側のコネクタは余計な切り欠きなどのない汎用のものだ。現在販売が続けられている機種ならまず問題なく接続できるだろう。対応機種はパッケージに表示されているが、目安は、NTTドコモの201以降の機種で、他キャリアの製品についても同時期以降ならほとんどをサポートしているようだ。ネオテクノのホームページには新たに動作確認された機種もホームページされているので、まずはこちらで確認するのがいいだろう。

携帯電話とPCを接続してモバイルエディタを起動したら、使用機種を設定する。ほと

んどの場合は、自動設定で認識するが、もし自動認識できないときは手動で行えばいい。これが済んだら、あとは携帯電話の電話帳データを読み込んで好きなように編集すればいい。携帯電話を買い換えたときにはそのままデータを移行できるわけだ。逆にPCにある電話帳データをCSV形式のファイルに変換すれば新たに読み込ませることもできる。携帯電話を新規で購入したときなどはこれが便利だ。

また個人で使うに少く高価なキットだが、オフィスで使うなら高いものではない。モバイルエディタを1台のPCにインストールして同じデータを複数の携帯電話に読み込ませることもできる(ソフトは1クライアント版なので複数のPCにインストールしてはいけない)。得意先の顧客データや課員の緊急連絡先などのデータを共有するのに使えるだろう。携帯電話の機種を選ばないからこそこできるワザだ。



(株)ネオテクノのホームページにはモバイルエディタの紹介だけでなく、対応機種の一覧が掲載されている。
URL <http://www.neo.ne.jp/neo/>



携帯電話の設定画面。ほとんどの機種は自動で認識するが、もしものときのために手動設定モードもある。



CSV形式の表データも項目を選んで読み込むことができるので、応用範囲は広い。



モバイルエディタの電話帳データエディット画面。これは携帯電話から読み込んだデータを加工してある。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp